

平成21年度局配分枠予算について

消 防 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

消防局は、火災、救急、地震など市民の安心安全を脅かす災害が発生した場合において、24時間体制で、迅速かつ的確に対応しなければならない業務を所管していることから、削減の余地のない義務的な経費が多い。

このような中、市民の安心安全に直結する事務事業にあっては現行レベルを低下させず、また、職員の努力や工夫により対応できる事務事業は削減を行い、選択と集中により、安心安全が市民生活に実感としてより伝わることを念頭に、次の3点を基本として局配分枠予算の編成を行った。

- ① 市民のいのちと暮らし、安心・安全を支える消防体制の充実
- ② 消防団員確保対策に重点を置いた消防団体制の充実
- ③ 市民との「共汗」で、防災力を高める防災危機管理体制の充実

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

消防団情報伝達体制の整備	10,000 千円
応急手当に特化した機能別分団の設置 ～ファースト・エイド・チーム（仮称）の創設～	1,000 千円
京都市域の防災力検証	10,000 千円
観光客、留学生及び通勤通学者等に対する防災対策の検討	1,000 千円
土砂災害警戒避難体制の推進	1,000 千円

<充実事業>

重点火災予防対策の推進	13,500 千円（うち充実分 2,200 千円）
メディカルコントロール体制の充実	10,500 千円（うち充実分 1,000 千円）